

脱炭素社会に向けた挑戦



JFRグループは、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量のネットゼロ^{※1}実現を目指して、マテリアリティに「脱炭素社会の実現」と「サーキュラー・エコノミーの推進」を掲げ、温室効果ガス排出量削減と資源循環の両輪で取り組んでいきます。

2050年ネットゼロに向けて

昨今、気候変動は極めて深刻なレベルまで進行し、将来世代はもちろんのこと、現世代の私たちを含め人類がその危機にさらされています。当社グループは、気候変動をサステナビリティ経営上の重要課題と位置づけており、気候変動に伴うリスクや機会は、事業戦略に大きな影響を及ぼすとの認識のもと、対策に取り組んでいます。

目標設定

当社は、グループ全体で気候変動対策を推進するためには、中長期の野心的な削減目標設定と達成に向けたロードマップの策定が必要だと考えています。これに基づき、2019年に、Scope1・2・3温室効果ガス排出量削減目標において、SBT (Science Based Targets) イニシアチブ^{※2}による認定を取得しました。2021年には、2030年のScope1・2温室効果ガス排出量削減目標を従来の40%から60%削減(基準年2017年度比)に引き上げ、「1.5℃目標」としてSBT認定を再取得しました。

そして、2023年2月に、Scope1・2・3温室効果ガス排出量について、2050年までの「ネットゼロ目標」の認定を取得しました。

目標年度	SBT認定を取得した目標内容
2050年	● Scope1・2・3温室効果ガス排出量ネットゼロ
2030年	● Scope1・2温室効果ガス排出量60%削減(2017年度比) ● Scope3温室効果ガス排出量40%削減を目指す(2017年度比)

ネットゼロに向けた取り組みの方向性

2050年ネットゼロ実現に向けて、当社グループは、「温室効果ガス排出量削減」と「資源循環」に重点的に取り組めます。

具体的には、省エネの徹底や店舗の再生可能エネルギー(再エネ)切り替え拡大等によるScope1・2温室効果ガス排出量削減、お取引先様やお客様との協働によるScope3温室効果ガス排出量削減に取り組むとともに、

3R^{※3}強化やサーキュラー型ビジネスの拡大等に取り組む、これらを推進することによって、バリューチェーン全体で2050年までのネットゼロを目指します。

- ※1 温室効果ガスの排出量を徹底して削減し、残りの排出量について、森林吸収やCCS(CO₂の回収・貯留)等による除去量を差し引いて実質ゼロにすること
- ※2 企業が最新の気候科学に沿った野心的な排出削減目標の設定を可能にすることを目的として、2014年、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)の4団体が共同で設立
- ※3 Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称



再エネ電力を拡大しサステナブルな店舗へ

小売業の大丸松坂屋百貨店やパルコを主要事業会社に擁する当社グループにおいて、Scope1・2排出量の90%以上が店舗からの排出であり、そのうちおよそ80%が電力使用に伴う排出です。よって、店舗で使用する電力について、省エネ化およびエネルギー効率の向上を図るとともに、再エネへの切り替えが必要であると認識しています。

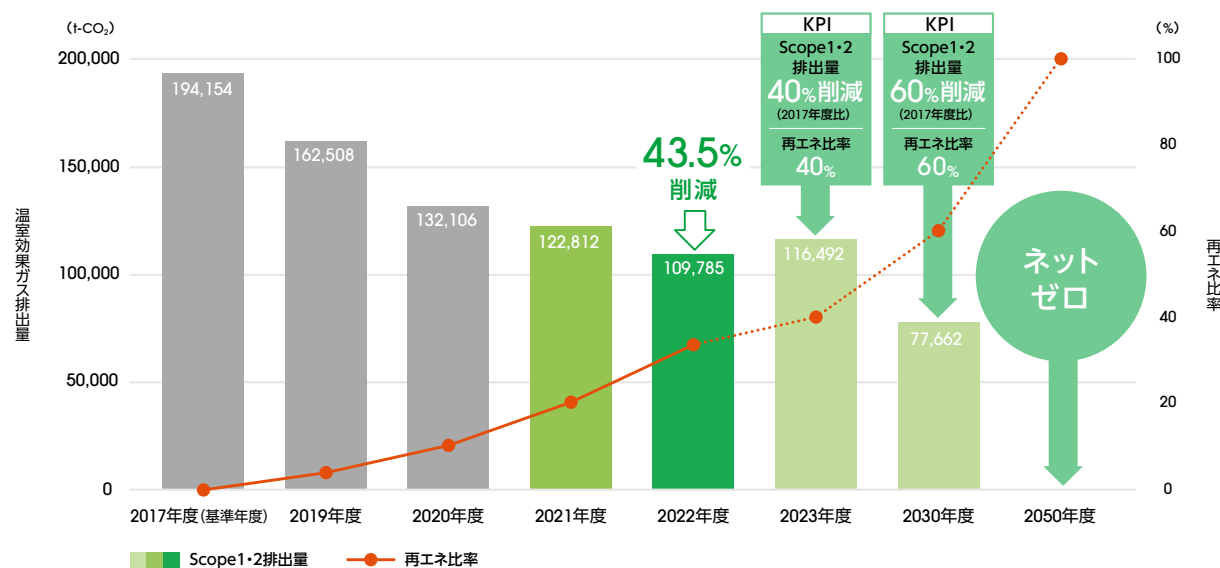
2019年に100%再エネで運営する店舗としてオープンした大丸心斎橋店を皮切りに、関西・関東地区の店舗を順次再エネに切り替えた結果、2022年度には、

再エネ比率33.6%、Scope1・2排出量は基準年とする2017年度比で43.5%削減となりました。

なお、2023年4月には、松坂屋名古屋店（北館除く）や名古屋PARCO等、中部地区の大型店舗の切り替えを実施し、更なる再エネ比率向上に取り組んでいます。

当社は、再エネ電力で運営する店舗は建物の環境価値を向上させ、環境課題に意識の高いお取引先様やお客様の支持獲得につながると考えており、今後も再エネ電力への切り替えに取り組んでいきます。

Scope1・2排出量および再エネ比率の推移



再エネ普及への貢献

渋谷PARCOや京都ゼロゲートでは、店舗の屋上に太陽光パネルを設置し、自家発電を行っています。今後は、追加性^{*}のある再エネ調達の導入にも取り組み、調達先の多様化に伴うエネルギーレジリエンスの向上をはかります。

^{*}新たな再エネ電源の普及・拡大に寄与し、CO₂削減に効果があること



渋谷PARCO屋上に設置されている太陽光パネル

電気自動車 (EV) 充電スタンドの増設

駐車場を運営する事業会社のエンゼルパークは、お客様が無料で利用できるEVスタンドを設置しています。2022年度はこれを増設し、計10台となりました。なお、2023年4月からは、全館で使用する電力を100%再エネに切り替え、電気自動車を利用されるお客様の利便性向上とともに、社会の脱炭素化にも貢献していきます。



エンゼルパーク駐車場のEV充電スタンド